



シルバー通信

第 54 号 (2024 年度)

発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先 (事務所)：〒536-0002

大阪市城東区今福 1 丁目 8-15-308

TEL：080-3040-6336

ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/>



ご挨拶

大阪府 シルバーアドバイザー連絡協議会
理事長 村松 秀明 (SA ネット大阪平成 29 年)

会員各位におかれましては平素からシルバーアドバイザーの活動にご尽力頂きまして大変ありがとうございます。それぞれの地区の総会も終わり新しい年度の活動に取り組まれている事と思いますが、府 SA 連協として本年度以下の取り組みを進めて行きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

来年に設立 35 周年を迎えるにあたって、その委員会を設置します。その委員会の中で、歴史を振り返り、現状を認識し、将来ビジョンをつくる事について、SA 構成員の総意を纏める作業を実施します。

SA を取り巻く様々な団体とのコラボ活動を進めます。特に大阪区民カレッジ・大阪府民カレッジとの共創活動を進め、シルバーアドバイザー資格の取得についても共に推進していきます。

万博共創チャレンジ活動から結びついたウクライナ避難民の方々の支援を進めます。遙か遠くの出来事ではありますが私達自身の問題と捉え、身近な所に避難されてきた人々に寄り添って力になって行きたいと思えます。

※SA 似顔絵友の会のメンバー様に書いて貰った似顔絵です。(上記)

一昨年から SA の仲間になって頂き、順調に活動の幅を広げられています。パナソニックの老人施設等でも似顔絵を描いて、入居者の方に喜ばれています 幸せの星 (万博共創)



決済フォームはこちら



日本語決済フォーム

◆令和 5 年度活動報告◆

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

◇1－運営全般◇

- (1) 「地区 SA が元気になれば府 SA 連協も元気になる」との思いで地区での活動の活発化を訴求した。その一環で月 1 回の理事会での他地区の成功事例のノウハウの共有化に努めた。
- (2) 社会貢献活動の意義追求
現状の我々の活動内容の棚卸をして社会から求められる事、我々が求める物との整合性を取っていかうとした。新たに「福祉部」を立ち上げ現状把握の為のアンケートを実施。問題点の把握をした。(詳細は福祉部報告の通り)
- (3) 行政機関・関係団体との関係
活動内容の公開を積極的に行い、府民の共感が得られるようにした。(広報部報告の通り)
生涯学習校との結びつきを強め、お互いの目的を理解しあい、共通する目標に向かって共に活動した。今年度は特に大阪府民カレッジ 13 校での SA 資格取得説明会に SA 地区会会長と共に本部役員も出席し、SA への加入促進を図った。
- (4) 新規会員増の取組について
府 SA 連協、17 地区 SA、全地区 2 団体の計 19 団体、588 名の期初状況から期末の状況は全地区 2 団体が、それぞれ会員数の若干の増、17 地区の内、殆どが横ばい若しくは減少と言う結果に終わった。
- (5) ブロック交流会の開催
おもちゃ部会、歌体操部会それぞれが 3 ブロックで交流会を開催した。日頃の成果の発表とブロック内の交流と、その目的に沿って開催できた。
- (6) イベント等への参画について
ATC 子どもエクスポへの参加やアーバンツーリズム大阪・船場が主導する船場祭りや北御堂イベントが定例化し、おもちゃ部会の活性化に繋がるイベントとなった。
- (7) 万博共創チャレンジについて
2025 年大阪・関西万博の機運醸成活動として「幸せの星」プロジェクトを継続し、様々な団体との繋がりができた。

1－2 会議の開催状況

定例会

役員会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 10:30～12:00 開催 (12 回実施)
理事会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 14:00～15:00 開催 (12 回実施)
セミナー	毎月 1 回 理事会日 13:00～14:00 開催 (4 回実施)
ブロック別会議	年 6 回 偶数月の理事会の日 15:00 開催 (6 回実施)
各部門会	年 6 回 奇数月の理事会の日 15:00 開催 (6 回実施)

◆各部門・部会の活動報告◆

◇2-渉外部◇

松木 健一 (大阪市SA 平成30年)

2 渉外部

コロナも5類相当に5月から移行され3年半余りの活動自粛も徐々に回復した年度になった。各地域のSA活動も本来のペースに戻りつつある。

但し会員の高齢化は明らかに進んでおりその面での活動量は減っている現状は否めない。オンラインミーティングも取り入れて月1回の役員会・理事会で決められないテーマにも対応を試みた。助成金活動の取り組みは、今年度は全く出来なかった事が反省。

諸先輩方のお知恵を借りてより充実した活動の基盤創りが、必要であること実感した。

【活動報告】

1. コーダイフェスタに参画して府SA活動紹介ブースの運営が出来た。
2. 府SA活動のパンフレットが更新され各地域SA活動に利用して頂いた。
3. 各地域SAの交流でお互いの活動状況を知る機会を多く持てた。
4. 2月開催された大阪マラソンへのボランティア参加は健康管理部会と茨木・大阪市SA合同チーム計2チームが参加した。
5. 大阪府民カレッジの全校に各校講座日に、府SA連協の存在と活動の場の紹介を実施。次に繋がる活動となった。

2024 大阪マラソン



2-1 健康管理部会

笠原 俊生 (大阪市SA 平成30年)

1. 今年度は少子高齢化が進行している中で、新メニューとして食事のバランスと生活習慣という観点で「早寝早起き朝ごはん」の大切さを学んでもらうために、全国協議会の推進会員として登録し、啓発活動をはじめました。熊取町の教育委員会の協賛を得て、関係者及び町立保育所・認定こども園で講座延べ5回(238名)を、開催することができました。
フレイル予防講座は、大阪府民・区民カレッジ・ONCC・各種団体を通じて延べ13回(461名)の開催することができました。併せてSA連協の活動内容紹介を行いました。
2. 講師/フレイル予防啓発サポーターの活動能力のレベルアップ
現在は、フレイル予防は6名の講師で活動し、食育講座担当は5名で活動しています。
3. 外部関係機関と連携し予防講座の広報活動
大阪府民カレッジ、大阪区民カレッジ、ONCC、各種団体等を通じて、健康寿命の延伸について告知チラシを作成して予防啓発の広報活動を行ないました。

「年間活動実績：2023 年 4 月～2024 年 3 月」

	開催先	開催数	出前講座の開催団体				参加人数
			北校	西校	住之江住吉校	東成校	
1	区民カレッジ (フレイル講座)	6	北校 (43) (39)	西校 (29) 中央校 (36)	住之江住吉校 (43)	東成校 (31)	221 名
2	府民カレッジ (フレイル講座)	1	大東学研 都市校 (31)				31 名
3	ONCC (フレイル講座)	1	・ぶらっと、散策 (吹田) (34)				34 名
4	各種団体	6	中央区健康づくり協議会 (27) (24) ふれあい SA 吹田 (20) (20) 豊中市民健康展 (豊中市三師会) (84) 大阪マラソンボランティア (10)				185 名
5	熊取町 (食育講演)	5	泉南郡熊取町プレ食育講演「早寝早起き朝ごはん」(47) 熊取町立北保育所 (37)・東保育所 (37)・中央保育所 (41) 認定さくらこども園 (保護者参観イベント) (76)				238 名
	合 計	19	() は当日会場の参加総人数				709 名

2-2 国際交流部会

手塚 之博 (SA 吹田平成 29 年)

現在活動を行なっている SA ネット大阪、SA 吹田の活動を他の地区 SA にも広げていく提案を行ない、大阪府在住の留学生との交流活動を通しての多文化交流活動、海外で日本語を学ぶ若者達とのオンライン交流活動等、日本語での交流活動を進めていく計画を立てたが府 SA 連協としての活動まで広げることが出来なかった。



* 「オンライン交流」

◇3-福祉部◇

手塚 之博 (SA 吹田平成 29 年)

福祉部は、2021 年大阪府 SA 連協在り方委員会から 2022 年ビジョン委員会での検討、役員会理事会を経て、社会貢献活動を追求する中で、交流活動部の福祉活動のウイングを広げ様々な福祉活動に対する社会の要請に対して府 SA 連協としても応えるべく 2023 年度総会承認により設けられた。

【活動報告】

2023 年 7 月～8 月、会員にボランティア活動調査を実施した。9 月 5 日中間報告、10 月 5 日最終報告を行った。

(調査の概要)

会員の 21.6%にあたる 127 人から回答を得た (女性 80 人、男性 47 人)。

調査の結果、SA は地域の中で生き生きと活動している姿が思い浮かび、後期高齢者になっても、80 歳を超えても、地元地域の中で、地域の高齢者のために、また、子ども・子育て活動、国際交流にも精を出していることが改めて分かった。

調査を通じて、我々会員自身、また府 SA 連協としての課題及び今後の活動の方向は次の通り。

『課題』

- IT 操作に不慣れ
- 超高齢者の活動にあたっての問題が把握できていない
- 地域での活動について府 SA 連協としてバックアップができていない

『今後の府 SA 連協の活動の方向』

会員の IT スキルの向上

地域での活動上の課題把握

地域活動を進めるにあたって有益と思われる情報提供

地域で活動している会員相互の情報交換の場の提供

ボランティア・市民活動とは
～これから活動を始めようと考えている皆さんへ～

世代間交流



子どもの健全育成

施設訪問



◇4-交流活動部◇

上山 乃婦子 (堺SA 平成20年)

◇交流活動部◇

各部会とも十分なコロナ感染対策を行いメンバーの協力で多くの活動ができた。

また ブロック交流会では歌体操・おもちゃ交流会は各ブロック特色のある研修会となった。歌体操部会では2024歌体操フェスタは歌体操部会と担当ブロック(北ブロック)の努力で無事終了

各地区SAでのボランティア活動は新型コロナウイルスの影響で自粛していたが、今年度は施設訪問やイベント参加などの活動が再開 ・今年から似顔絵の会が加入

4-1 歌体操部会

藤川 安高 (SA吹田平成19年)

部会員；25名 (中ブロック：10名、南ブロック：6名、北ブロック：9名)

1、4月部会より新しい体制でスタートし、情報の共有と充実した研修ができた。

ブロック研修交流会、2024フェスタなど計画していたイベントも担当ブロックや部会員の努力で、充実したイベントを実施することが出来た。

2、歌体操部会(定例会)

- ・第4月曜日 午前10時～12時 大阪市生涯学習センターで連絡事項報告、情報交換と実技研修で月1回実施した。

部会員；25名

令和5年月/日	4/24	5/22	6/26	7/24	8/28	9/25	10/23	11/27	12/25
参加人数(名)	24	24	21	25	25	23	24	21	23
令和6年月/日	1/29	2/26	3/25						
参加人数(名)	22	23	24						

3、歌体操ブロック研修会

地域の親睦と活性化を図るため各地区ブロック交流会実施

ブロック名	令和5年実施月/日	場 所	参加人数(名)
北ブロック	10月11日(水)	高槻市クロスパル高槻	約102名
南ブロック	11月6日(月)	堺市総合福祉会館	約106名
中ブロック	10月30日(月)	大阪市東成区民センター	約90名

2024 歌体操フェスタ (3/18 茨木市クリエイティブセンター)



4-2 おもちゃ部会 (部会員 25 名)

梶本 邦子 (SA いけだ平成 23 年)

おもちゃ部会では・ATC「親と子どものおもちゃ教室」

・「船場まつり」 ・「わくわくキッズパーク@北御堂」に参加

*おもちゃ部会運営内容

開催／ 偶数月 第 2 火曜日 1:30~3:30

会場／ 大阪市中心区民センター

役員／ 書記 中ブロック長 梶本 邦子 (SA いけだ)

会計 中ブロック長 野口 紀子 (大東の会)

南ブロック長 千種 長子 (SA 藤井寺)

講師／ ブロック (北・中・南) ごとに講師を担当 ・会費／ 1 回 200 円

*おもちゃ部会開催状況

開催月日	場所	おもちゃ	講師	参加人数
2023 年 4 月 11 日	中央区民センター	コップ.てっぼう	赤澤氏	16 名
6 月 16 日	↑	風サンバイザー・クネクネスネーク	島田氏	16 名
8 月 8 日	↑	鉄棒人形 他 2 点	赤澤氏	8 名
10 月 3 日	↑	ぶんぶんゴマ	千種氏	11 名
12 月 12 日	↑	いそげサンタ!	上山氏	21 名
2024 年 2 月 6 日	↑	花が咲いた~	塩野氏	17 名

*ブロック別おもちゃ交流研修会

ブロック	開催日	開催場所	主催	参加人数
北ブロック	2023 年 11 月 25 日	池田北会館	SA いけだ	11 名
中ブロック	2023 年 11 月 3 日	寝屋川公園	寝屋川まつり	9 名
南ブロック	2024 年 1 月 29 日	和泉市立人権文化センター	いずみ SA	20 名

ATC「親と子どものおもちゃ教室」



◇ 5 - 広報部 ◇

大川 正彦 (SA 藤井寺平成 18 年)

5 広報部

【活動目的】

1. 府 SA 連協と地区 SA の架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域での SA 活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。
5. 引き続き新 SA ありかた委員会広報部取り組み課題を推進する。

【活動報告】

1. 高大内 3 F、常設新パンフレットスタンドのメンテを当番制で維持し、受講生向けの SA 連協パンフレットや地区 SA のチラシを広報展示及び配布する。
2. コーダイフェスタ（15 周年）展示コーナ出展（府 SA 連、NPO-SA ネット大阪）。
3. 広報誌部会下記
4. ホームページ部会下記
5. ブログ研究部会下記
- 6 新ありかた委員会の積み残し課題を整理継続推進
 - ・新ありかた委員会プロジェクト検証（担当地区行政実態調査）下記

5-1 広報誌部会

大川 正彦 (SA 藤井寺平成 18 年)

【活動報告】

1. 府 SA 連協・シルバー通信 53 号（前年度報告, 当年度計画）を発行、6 月全会員に配布。
2. 高大機関誌「れいんぼー」に校友会、会員として寄稿する年 1 回(1 月)。
3. 府 SA 連協の PR パンフレットの R 5 年度版作成、各地区 SA 及び健康管理部会配布。
地区 SA のチラシ（更新随時）等のツールを使い高大関連行事・ONCC 関連行事・校友会関連行事等で、募集活動に利用。
4. 新ありかた委員会プロジェクトの積み残し課題を整理推進。
 - ・有償ボランティア（厚労省個人還元）ポイント制度引き続き推進。
実施地区社協に実態調査（SA はびきの）状況を藤井寺市にフィードバック
 - ・藤井寺市に府民カレッジ藤井寺設立の準備を進めてきたが松原校開校が先行し断念。

5-2 ブログ研究部会

大橋 清(大阪市 SA 平成 27 年)

【活動報告】

1. 各地区のブログ要員の拡大、普及とスキル習得のための施策 3~4 人では「人、物、金」の運営難しく、5 年間の人材育成の結果の実態調査をし、現在休会も、「コーダイ同期同窓会」組織での「人、物、金」の、構想継続検討。
2. 各地区の現状分析 A 毎月更新地区 B 更新が止まっている地区 C ブログ担当者がいない地区。A ブロック, B ブロック, C ブロック地区分けの当初計画は一巡。人的確保が難しい地区 SA が残り、見直しの時期が来ている、実態調査後「ブログ研究部会」受講生募集も 2 名のみ「同期同窓会組織」の、継続検討を行う。

5-3 ホームページ管理部会

村松理事長・大川広報部長

【活動報告】

1. SA 連協、各地区概要ホームページ更新、2022 年度（11 地区）。2023 年度もフォーマット作成、より多く推進。退会、入会地区の更新を行う。
2. 府 SA 連協 HP「広報トピックス」コーナ、各部門・渉外・交流活動・広報の継続スキルアップ各部門に原稿依頼回収編集後アップ行った
3. SA 連協ホームページアクセスが年間通じ 20%と低調続いて居るので実態調査アンケートを行うも、回答の無い地区 SA もあり現状実態が不透明。
4. 各地区 SA の依頼原稿（原稿変更時）に基づいて、地区 SA のホームページコーナを更新する。
5. 地区 SA の活性化、先進活動に理事会での講演会情報フィードバック、助成金情報、共有化活性化に寄与継続実施。
 - ・ブロック交流行事（歌体操・おもちゃづくり）・本部行事（歌体操フェスタ・ATC 親子おもちゃづくり等）各部門に原稿を依頼し広報が纏めアップを行った。
6. ホームページ更新の ID やパスワード等の管理は複数人で保管するものとし、管理者については、理事長及び部門長と部門長に委託を受けた者とする。（引継要綱）
7. 新ありかた委員会ストーリー、プロセスを整理しホームページにアップ出来なかった。

「コーダイフェスタ（15周年）」のブースに参加

（府 SA 連協、NPO・SA ネット大阪共同展示）



2023年度SA連協決算報告書				
期間(2023年4月1日～2024年3月31日)				
収入の部				
科目	2022年度実績	2023年度予算	2023年度実績	備考
前年度繰越	217,052	220,844	220,844	
会費	122,800	122,800	115,000	200円×575人
利息	2	2	2	
事業収益	0	10,000	0	イベント 事業収益
助成金	0	50,000	50,000	大阪労働者福祉財団
ATCおもちゃイベント	180,000	180,000	180,000	ATCイベント
広報誌広告収入	30,000	60,000	90,000	
雑収入	34,400	30,000	600	(ユニフォーム代)
収入合計	584,254	673,646	656,446	
支出の部				
活動費	33,000	33,000	26,000	理事・役員交通費
事務費	56,350	50,000	59,600	会場費、コピー代他
歌体操	21,371	80,000	70,660	歌体操フェスタ
歌体操	40,000	40,000	40,000	研修費・交流会補助
おもちゃ	30,000	30,000	30,000	研修費・交流会補助
ブログ・ホームページ	37,391	26,000	26,091	
健康管理部	10,000	10,000	10,000	研修費・交流会補助
シルバー通信	33,120	35,000	41,170	
PR資料他	2,000	20,000	11,200	
おもちゃイベント 経費	93,098	100,000	71,500	
予備費	7,080	20,000	3,790	講演会謝礼・他
支出合計	363,410	444,000	390,011	
繰越金	220,844	229,646	266,435	
合計	584,254	673,646	658,446	
村松秀明理事長殿				
以上の通り今年度の会計決算を報告します。				
令和6年3月31日				
事務局長 手塚之博				
会計 下川順夫				
会計監査報告書				
上記、会計に関する帳簿、証拠書類、現金等につき厳正に監査致しました。				
その結果、適正に的確に処理され正確であることを証し、ここに報告します。				
令和6年4月1日				
会計監査 泉川渥洋				

◆2024 年度役員体制◆

役 職	氏 名	所 属
理事長	村松 秀明	SA ネット大阪
副理事長兼渉外広報部長	松木 健一	大阪市
副理事長兼交流活動部長	上山 乃婦子	堺
事務局長 兼国際交流・福祉部会長	手塚 之博	吹田
書 記	小西 禎一	吹田
健康管理部会長	笠原 俊生	大阪市
会 計	下川 順夫	高槻
幹事・歌体操部会長	藤川 安高	吹田
幹事・おもちゃ部会長	伊藤 康太	茨木
幹事・交流活動部長補佐	小川 忠夫	吹田
幹事・交流活動部長補佐	百々 トミ子	和泉
顧問	大川 正彦	藤井寺
監事	泉川 渥洋	府民カレッジ理事長



*伊藤さん欠席

◆2024 年度活動方針◆

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

◇1ー運営全般◇

理事長 村松 秀明 (SA ネット大阪平成 29 年)

- (1) 今年度の活動指針の 1 番は「生き甲斐作りのお手伝い」としたいと思います。
- ① 地区 SA 所属会員のそれぞれの「生き甲斐作り」のお手伝いをしていく。
 - ② 少ない人数で活動している地区 SA も楽しく活発な活動をされており一層のやりがいにつながるように様々な情報提供をおこなっていく。又大きな地区 SA の会員様に対しても夫々の活動に一層のやりがいを感じて頂けるような提案を行っていく。
 - ③ 会員全員が「社会貢献活動こそが最高の生き甲斐」という理念共有化をはかる。
- (2) 組織持続化の為のあらゆる方策を展開する。一部の地区 SA を除いて会員の増加は見込めず、関係会員（関係団体会員）を増やして行く。
- ① 活動内容の公開を積極的に行い、府民市民の共感が得られるようにする。
 - ② コラボで活動できる関係団体との交流を積極化し積極的にコラボ団体を増やす。
 - ③ 活動内容の多角化をはかる。活動者を増やし共に活動する仲間を増やして行く。
 - ④ 府民カレッジをはじめとする生涯学習校との結びつきを強め、お互いの目的を理解しあい共通の目的に向かって共に活動する。また SA 資格取得者に対し共に社会貢献活動へ取り組む事をはたらきかける。
 - ⑤ イベント等の受託事業を積極的に取り込む。また地域の企業との結びつきを強化し協賛の働きかけを実施する。
関係団体とのコラボ事業が増えれば地区 SA が元気になり府 SA 連協も元気になる
 - ⑥ 地区 SA の要請に応じて助成金取得のノウハウや助成金情報の共有化をはかっていく。

- ・ 定例役員会・理事会は従来通り月 1 回開催。開催時間帯については変更する。

<プロジェクトテーマによっては P D C A サイクルを早く回す為に適時会議を開催する>

役員会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 13 : 00～14 : 00 開催 (12 回実施)
理事会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 14 : 15～15 : 15 開催 (12 回実施)
ブロック別会議	年 6 回 偶数月の理事会の日 15 : 15 開催 (6 回実施)
各部門会	年 6 回 奇数月の理事会の日 15 : 15 開催 (6 回実施)
オンライン会議	テーマに沿って随時開催

◆◆各部門・部会の活動計画◆◆

◇ 2 - 渉 外 部 ◇

2 渉 外 部

松木 健一 (大阪市 SA 平成 30 年)

【活動目的】

役員の高齢化に伴う業務の引き継ぎで持続可能な活動を目指していきたい
渉外活動・広報活動の一体化でより効率よい無理のない範囲で活動の継続と新たな人材が活躍
できる組織に行きたい。2025 年開催予定の関西万博にいずれかの分野でボランティア活動が
できるように挑戦してまいりたい。

【活動計画】

- ・各 SA のノウハウの共有化のための事例発表の場を理事会で定例化する。
- ・生涯学習校との結びつきを強め、SA 資格取得者へ働きかけ会員増加につなげる。
- ・改革等の各種プロジェクトについて Zoom 等を活用しスピードを上げ成果に結びつくよう働きかける。
- ・助成金情報の共有化、協賛頂ける活動のレベルアップと広報活動強化で協賛団体の獲得推進に努めていく。

《参加行事及び活動》

- 1, コーダイ・ONCC・区民・府民カレッジの SA 認定授与式等の行事参加
- 2, コーダイフェスタ・ONCC ふれあい交流祭・府民カレッジ祭りなどへの参加
- 3, 高大各クラスへの SA 認知活動
- 4, 大阪マラソンへのボランティア参加
- 5, 行政との良好な関係を維持し SA 活動の認知度を上げると同時に情報収集に努める。

2-1 健康管理部会

笠原 俊生 (大阪市 SA 平成 30 年)

【活動目的】

少子高齢化社会の進行に伴い「健康寿命の延伸」をめざして、更なる予防意識の啓発普及を図るために、フレイル予防講座と子ども向けの「早寝早起き朝ごはん」の食育講演の出前講座の開催を積極的に行いたい。併せて、元気なシニアの SA 会員募集活動に寄与していく。

【活動計画】

- ① フレイル予防啓発で健康寿命の延伸を普及
 - ・ NPO 法人大阪府民カレッジ・区民カレッジ・認定 NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ (ONCC) ・地区 SA ・各種団体等へ出前講座を通じて予防啓発の普及に努めます。
- ② フレイルサポーター (講師) 及び食育講座担当の活動能力のレベルアップ
 - ・ 講師の増員養成で活動の領域を拓げる。
 - ・ サポーターの相互研鑽のため、他の団体の講演会を受講する。
- ③ 外部団体の関係機関との連携と広報啓発活動
 - ・ 他の団体のイベントに出展参加して、健康寿命延伸に繋がる社会貢献活動に努めます。
 - ・ 大阪府高齢介護室との連携に努め、健康啓発情報の収集を図る。
 - ・ 健康関連団体との連携を深め、健康に関する啓発情報を得る。

「活動予定期日」

開催先		開催期日（予定）		2024 年 3 月現在			
1	府民カレッジ	7/16 大東学研都市校					1
3	区民カレッジ	7/8 中央校 10/7 北校	R7：1/20 西校、平野校 住之江住吉校	R7:2/3 北校			6
3	第 49 回とよなか 市民健康展へ出 展	11/17 (7 回目の出展)	豊中市立文化芸術センター 出展テーマ：食で育むこころとからだ 「早寝早起き朝ごはん」				
4	食育講演	5/25 SA ひらかた	「早寝早起き朝ごはん」磯島小学校いきいき教室 「いそっこクラブ」				

※ [活動予算の申請額]・10,000 円（啓発普及の教材・広報媒体物作成の部）

2-2 国際交流部会

手塚 之博（SA 吹田 29 年）

【活動目的】

国籍を超え、様々な文化の理解を通して多文化共生社会の実現を図ります。
今後日本に於いて益々グローバル化が進み、多くの外国人と共に生きていくという現実の中で、異文化理解は必要不可欠なものです。活動をする事で、共に助け合い、支え合って生きていく社会をつくる一助にしたいと考えます。

【活動計画】

現在活動を行なっている SA ネット大阪、SA 吹田の活動を他の地区 SA にも広げていく提案を行なう。具体的には大阪府在住の留学生との交流活動を通しての多文化交流活動、海外で日本語を学ぶ若者達とのオンライン交流活動等、日本語での交流活動を進めていく。

◇3—福祉部◇

手塚 之博（SA 吹田 29 年）

3 福祉部会

【活動目的】

昨年度、実施した活動調査での課題の一つである、地区 SA の活動を SA 連協がバックアップできていないという状況を踏まえ地区 SA と連携し連協会員の「生きがづくり」に手助けとなる取組みをすすめたい。

【活動計画】

地区 SA で行っている「福祉活動」について実態調査を行い、

- ①地域での活動上の課題把握
- ②地域活動を進めるにあたって有益と思われる情報提供
- ③地域で活動している会員相互の情報交換の場の提供等の活動。

◇ 4 - 交流活動部 ◇

交流活動部

上山 乃婦子 (堺 SA 平成 20 年)

【活動目的】

交流活動部の組織力を強化し、歌体操、おもちゃの活動を通じて各地区 SA との交流の活性化を目指す。

【活動計画】

1. 歌体操部会は毎月一回定期的に部会を実施し、おもちゃ部会は隔月定期的に部会を実施し、情報交換と技術の向上を図る。
2. 歌体操部会、おもちゃ部会は年一回各ブロック（北、中、南）交流会を実施する。
3. SA 全体のイベントとして「府 SA 連協歌体操フェスタ 2025」を実施する。
4. 関連団体の行事等に参加する。

4-1 歌体操部会

藤川 安高 (SA 吹田 19 年)

【活動目的】

部会と研修実技を通じて、各地区 SA の情報の共有化と技術向上、普及および親睦を図る。

【活動計画】

1. 部会の実施
毎月 1 回 年間 12 回 第 4 月曜日 AM10:00~12:00
会議と実技の研修を行う。
会場：総合生涯学習センター（大阪駅前第 2 ビル 5F）
2. 各ブロック（北、中、南）交流会を実施
地域親睦と交流を図るため年 1 回担当地区持ち回りで行う。
3. 府 SA 連協[歌体操フェスタ 2025]の実施
大阪府下の歌体操の仲間が集まって楽しいイベントを 3 月に行う。
4. SA 関連団体のイベントなどに部会として積極的に参加する。



全員輪になって体操

4-2 おもちゃ部会

伊藤 康太 (SA 茨木平成 28年)

【活動目的】

各地区 SA の情報を共有し活性化を図る、また技術の向上を目指す。

【活動計画】

1. おもちゃ部会の実施

時期：隔月1回 偶数月の第2火曜日 PM 1:30～3:30

会場：大阪府中央区民センター

運営：ブロック（南、中、北）ごとに代表1名を選出し、役員を依頼する。

講師：ブロック（南、中、北）ごとに講師を依頼する。

*講師を新しい方をお願いすることによって、新講師の発掘と養成をする。

2. 会費：1回 200円 徴収

3. 年1回 各ブロック（北・中・南）交流会の実施

4. 部会員の活動の実践場所を広げ、イベントなどに積極的に参加する

「船場祭り」



◇5-広報部◇

大川 正彦 (SA 藤井寺平成 18年)

5. 広報部

【活動目的】

1. 府SA連協と地区SAの架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域でのSA活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。
5. 引き続き新SAあり方委員会広報部取り組み課題を推進する。

【活動計画】

- ・ 広報部部長引継ぎ出来ず 渉外部、広報部の合併。

広報、各部会をプロジェクトチームにする。

*現在進行中 (確定に時間を要する)

5-1 広報誌部会

大川 正彦 (SA 藤井寺平成 18 年)

【活動目的】

1. 情報誌・PRチラシ等の文書情報での情報発信を行う。
2. SA ファンづくり (情報誌・PRチラシ等) で会員募集確保を行う。
3. 情報誌・パンフレット・PRチラシ等で地区 SA の活性化、先進活動の共有化を行う。

【活動計画】

1. 広報誌シルバー通信は渉外部に引継ぎ
2. 後の項目・パンフレット・PRチラシ等はプロジェクトチームとする。

5-2 ブログ研究部会

大川 正彦 (SA 藤井寺 平成 18 年)

【活動目的】

1. 各地区 SA がブログを使って、日常活動および情報をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する (府 SA 連協情報含む) そのためのスキル向上を目指す。

【活動計画】

部会休会中もシステムは継続中！地区 SA の現状報告済み毎月継続 7 地区 中断 3 地区 休止 4 地区、見直しの時期が来ている「同期同窓会組織」の、プロジェクトチーム検討。

5-3 ホームページ管理部会

村松理事長 大川担当顧問

【活動目的】

1. 府 SA 連協の情報の交差点としてのホームページを目指し企画、維持管理に努める。

【活動計画】

1. コストパフォーマンス (費用対効果) 考えると「アクセス数 20%」はコストパフォーマンスが出ていない見直しの時期。
2. プロジェクトチーム化「同期同窓会組織」を推進現在進行中
* 新ホームページ作成、更新、プロジェクト発足。
3. ホームページ更新の ID やパスワード等の管理は複数人で保管するものとし、管理者については、理事長及び部長と部長に委託を受けた者とする。(引継要綱)



2024 年度大阪府 SA 連協会計予算

期間（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

科目	2023 年実績	2024 年予算	備考
収入の部			
前年度繰越	220,844	266,435	
会費	115,000	110,000	200 円 x 550 人
利息	2	100	
事業収益	0	10,000	イベント事業収益
助成金	50,000	50,000	大阪労働者福祉財団
ATC おもちゃイベント	180,000	180,000	ATC イベント
広報誌広告収入	90,000	60,000	
雑収入	600	10,000	
収入合計	656,446	686,535	
支出の部			
活動費	26,000	26,000	理事・役員交通費
事務費	59,600	40,000	会場費、コピー代他
歌体操	70,660	80,000	歌体操フェスタ補助金
歌体操	40,000	40,000	研修費＋交流会補助
おもちゃ	30,000	30,000	研修費＋交流会補助
ブログ・ホームページ	26,091	26,000	
健康管理部	10,000	10,000	
シルバー通信	41,170	40,000	
PR 資料他	11,200	20,000	PR チラシ他
おもちゃイベント経費	71,500	80,000	ATC・他
予備費	3,790	15,000	講演会謝礼・他
支出合計	390,011	407,000	
繰越金	266,435	279,535	
合計	656,446	686,535	

令和 6 年 4 月 1 日

事務局長 手塚 之博

会計 下川 順夫

令和 6 年大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事



No	地区名称	役職	氏名
1	SA ネット大阪	理事長	村松 秀明
2	大阪市 SA 連協	健康管理部会長	笠原 俊生
3		副理事長兼渉外広報部長	松木 健一
4	SA 吹田	事務局長兼福祉部会長 兼国際交流部会長	手塚 之博
5		書記	小西 禎一
6		歌体操部会長	藤川 安高
7		交流活動部長補佐	小川 忠夫
8	SA 茨木	理事	中島 英征
9		おもちゃ部会長	伊藤 康太
10	SA 高槻	会計	下川 順夫
11	SA 守口	理事	島田 道子
12	SA ひらかた	理事	松菱 千枝
13	SA 四條畷	理事	塩野 孝子
14	SA 交野連絡会	理事	田中 暁子
15	SA 大東の会	理事	野口 紀子
16	SA 東大阪	理事	片山 憲一
17	SA 八尾・柏原	理事	二葉 登代子
18	SA はびきの	理事	松田 嘉威
19	SA 藤井寺	顧問	大川 正彦
20	SA 河内長野	理事	元坂 道幸
21	堺 SA 連絡協議会	副理事長兼 交流活動部長	上山 乃婦子
22	いずみ SA	交流活動部長補佐	百々トミ子
23	SA 似顔絵友の会	理事	笹本 尚裕
24	SA 国際ハーモニーシー合唱団	理事	手塚 之博
合計 20 地区組織		24 名	
		監事	泉川 渥洋

編集後記 2025 年の光と影・大阪万博も 300 日を切り「此花区夢洲」の万博会場も活気が出て来た！反面、国益に係る「少子、高齢化」・世界一、日本の超高齢化社会問題（高齢者の氷河期）・50 年続く少子化問題（産まない、結婚しない）、増田レポート（10 年毎発信日本の傾向）によると、2050 年には、少子、高齢化で、日本の自治体の内 744 の自治体が消滅予測。特に少子化の影響は深刻働く若者が居ない「日本沈没！」ラストチャンスは 2030 年（団塊世代の孫の時代）「府 SA 連協」も高齢化による「会員自然減」「後継者不足」は続いている・・・

今期見られる対策はコラボ企画、区民、府民等とのコラボ、他組織 SA ネット大阪、SA ハーモニーシー・SA 似顔絵等とのコラボ。2025 年の光と影の前年 2024 年度は大事な年と見た。広報 M.O

もめない相続 元気な今こそできる準備

様々な情報が行き交う長寿時代。

自分に適した「終活」を早いうちから準備される方が多い時代になりました。

まずはご自身の関心事を簡単に確認してみましょう！

はい

将来、資産を引き継ぎたい
子ども（親族）がいる



いいえ

体力が衰えた時に備えて
あらかじめ子どもに任せて
おきたい財産がある



はい→①

いいえ→②

10年～20年後の生活や、
もしもの時の葬儀や納骨を
考えると少し不安だ



はい→③

いいえ→④

① 家族信託

一部の不動産、預貯金、有価証券は、家族信託が有効な対策になります。制度の詳細やご自身の家族に活用できるか是非詳しく聞いてみましょう！

③ 任意後見人

安心のシニアライフを支える専門家、「任意後見人」の選び方と、介護や認知症でかかる費用を詳しく聞いてみましょう！

② 円満相続の計算とシミュレーション

もめない相続のために、円満相続の計算とシミュレーション、エンディングノートや遺言制度の有効な使い方を、早めに確認しておきましょう！

④ 老後資金

意外と知らないシニアライフに必要なお金の話。何にどんなお金がかかる？老後資金の考え方、詳しく聞いてみませんか？

募集中